



## 「新技術を活用した危険物施設の保安設備等に関する研究会(第4回)」開催報告

企画部

危険物施設における保安設備等への新技術の活用を目的に、「新技術を活用した危険物施設の保安設備等に関する研究会(第4回)」をWEB開催し、127名の方々にご参加いただきました。

### 1 概要

近年、様々な分野で監視カメラ技術、ドローン技術、IoT技術等の新たな技術が活用されています。

今後、危険物施設においても、これらの新技術を活用した保安設備等の導入や普及が見込まれることから、人の目に替わる点検手段、データを用いた危険予兆など、大規模危険物施設等における維持管理や災害早期発見についての方策として、これらの新技術を活用した保安設備等について、発表者と参加者の対話形式による研究会を不定期に開催しています。

第4回となる今回は、新型コロナウイルス感染症対策として、WEBによる開催とさせていただきました。また、WEB開催としたことにより、多くの方にご参加いただきました。

### 2 開催日

日時：令和3年8月20日(金) 14時00分から16時00分まで

### 3 参加者(127名)

消防関係機関(13消防機関19名)

事業所関係(55事業所95名)

その他(13名)

### 4 内容

#### (1) 発表

三菱重工業株式会社による「自動走行ロボットを活用した監視・点検」

#### (2) 意見交換

##### ア 行政機関

- ・ロボットが自動走行するためのマップ作成方法について
- ・事故発生時の画像や動画が確認できると調査活動等に活かせる。
- ・事故状況の確認時は遠隔操作が有効となるが、電波の強度は確保できるのか。
- ・誤作動を起こした際の安全機能はあるのか。

##### イ 事業所等

- ・自動走行時に人や障害物があった場合について
- ・要望に応じて検知できるものを変更できる機器を望む。

- ・点検等の巡回時の異常検知の方法について
- ・次世代機について

そのほか、多くのご意見・ご質問をいただきました。

## 5 実施状況



三菱重工業株式会社による発表

## 6 「プラント自動巡回ロボット」の詳細について

三菱重工業株式会社の「プラント自動巡回ロボット」については、機関紙「Safety & Tomorrow」199号(11月号)に掲載予定です。

## 7 次回開催予定

今後も不定期になりますが、「新技術を活用した危険物施設の保安設備等に関する研究会」をWEB開催していく予定です。詳細が決定次第、危険物保安技術協会のホームページに掲載案内を掲載します。